

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月22日

上場会社名 モーニングスター
 コード番号 4765 URL <http://www.morningstar.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け 当社ウェブサイト動画掲載予定

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,902	72.8	498	59.6	542	51.0	317	42.4
25年3月期第2四半期	1,101	1.6	311	9.7	359	6.6	223	21.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 331百万円 (48.5%) 25年3月期第2四半期 223百万円 (21.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.87	—
25年3月期第2四半期	2.72	—

当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。
 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定し、上記に記載しております。
 26年3月期第2四半期および25年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第2四半期	8,264	—	7,755	—	93.8	94.28
25年3月期	8,363	—	7,801	—	92.1	93.63

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,753百万円 25年3月期 7,700百万円

当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。
 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産金額を算定し、上記に記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.33	3.33
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。
 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金額を算定し、上記に記載しております。分割前の1株あたり期末配当金額は、1株1,000円であります。
 26年3月期の期末における配当予想額は現時点で未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、現時点では合理的な見通しを立てることが困難なため、未定であります。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

当社グループは、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について、従来、定率法(ただし、一部の海外連結子会社は定額法)を採用していましたが、親会社の連結決算上の会計処理と統一するため、当第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。これらの変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	83,973,600 株	25年3月期	83,973,600 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,735,200 株	25年3月期	1,735,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	82,238,400 株	25年3月期2Q	82,106,023 株

当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数(四半期累計)を算定し、上記に記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

26年3月期期末の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。業績予想につきましては、今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(四半期連結貸借対照表関係)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	10
(株主資本等関係)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の連結業績は、売上高が前年同四半期（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の1,101百万円から801百万円（72.8%）の増収となる1,902百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の543百万円から414百万円（76.3%）増加し958百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同四半期の245百万円から200百万円（81.7%）増加し446百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の311百万円から186百万円（59.6%）の増益となる498百万円となりました。

営業外損益が、前年同四半期と比べ、純額で3百万円減少した結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の359百万円から182百万円（51.0%）の増益となる542百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同四半期の223百万円から94百万円（42.4%）の増益となる317百万円となりました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ファイナンシャル・サービス事業					
コンサルティング	266,110	24.2	340,274	17.9	27.9
データ・ソリューション	632,577	57.4	742,337	39.0	17.4
メディア・ソリューション	152,933	13.9	323,092	17.0	111.3
計	1,051,621	95.5	1,405,704	73.9	33.7
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	49,751	4.5	497,253	26.1	899.5
計	49,751	4.5	497,253	26.1	899.5
連結売上高	1,101,373	100.0	1,902,958	100.0	72.8

1) ファイナンシャル・サービス事業

・コンサルティング

セミナー関連の売上が順調に推移し、確定拠出年金関連の売上も増加いたしました。また、上海サーチナ（新秦商務諮詢（上海）有限公司）のリサーチ事業の売上が加わりました。その結果、コンサルティングの売上高は、前年同四半期の266百万円から74百万円（27.9%）の増収となる340百万円となりました。

・データ・ソリューション

ファンドデータやレポートの売上が増加し、SBIサーチナ株式会社の中国市場情報などのデータ提供売上が加わりました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の632百万円から109百万円（17.4%）の増収となる742百万円となりました。

・メディア・ソリューション

ページビューの拡大などによりウェブ広告が大幅に増加いたしました。また、SBIサーチナ株式会社のウェブ広告などが加わりました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の152百万円から170百万円（2.1倍）の増収となる323百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

SBIアセットマネジメント株式会社の投資委託者報酬などが加わり、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の49百万円から447百万円(10.0倍)の増収となる497百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の1,051百万円から354百万円(33.7%)の増収となる1,405百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の292百万円から131百万円(44.9%)の増益となる423百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の49百万円から447百万円(10.0倍)の増収となる497百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の19百万円から54百万円(3.9倍)の増益となる74百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は前連結会計年度末と比較して98百万円減少し、8,264百万円となりました。

これは主として、流動資産が前連結会計年度末と比較して208百万円減少し、6,757百万円となった一方、固定資産が前連結会計年度末と比較して110百万円増加したことによるものであります。

流動資産の減少は、主として配当金の支払を274百万円行なったこと、法人税等の支払を220百万円行なったことなどにより、現金及び預金が283百万円減少したことによるものであります。

固定資産の増加は、主として子会社SBIサーチナ株式会社の株式を追加取得し、同社を完全子会社としたことに伴い、のれんが128百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して52百万円減少し、509百万円となりました。

負債の減少は、主として未払金、前受金などの減少によるものであります。

当第2四半期連結累計期間に317百万円の四半期純利益が計上され、274百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が42百万円増加いたしました。

また、子会社SBIサーチナ株式会社を完全子会社としたことに伴い、少数株主持分が102百万円減少いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して45百万円減少し、7,755百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ283百万円減少し、1,695百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、68百万円増加し、262百万円の獲得となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期と比べ182百万円増加した一方、法人税等の支払が51百万円増加し、売上債権の増加額が前年同四半期に比べ62百万円多くなったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、593百万円減少し、278百万円の支出となりました。

これは、子会社株式の追加取得231百万円や、定期預金の払戻がなかったこと(前年同四半期350百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期に比べ、4百万円増加し、275百万円の支出となりました。

これは、主として期末配当金の支払が前年同四半期の245百万円から、当第2四半期連結累計期間は275百万円となった一方、当第2四半期連結累計期間には、自己株式の取得がなかったこと(前年同四半期34百万円)によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

4. 四半期連結財務諸表（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）に記載のとおりであります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,100,150	1,816,727
売掛金	507,885	579,888
有価証券	4,279,315	4,279,337
たな卸資産	※1 5,278	※1 12,444
繰延税金資産	23,256	21,063
その他	49,480	47,648
貸倒引当金	△85	—
流動資産合計	6,965,282	6,757,108
固定資産		
有形固定資産	※2 32,169	※2 31,287
無形固定資産		
のれん	862,919	965,338
ソフトウェア	174,691	161,705
その他	19,706	51,813
無形固定資産合計	1,057,317	1,178,857
投資その他の資産		
投資有価証券	67,143	61,032
繰延税金資産	4,548	6,489
その他	236,159	229,902
投資その他の資産合計	307,852	297,425
固定資産合計	1,397,338	1,507,570
繰延資産		
株式交付費	610	305
繰延資産合計	610	305
資産合計	8,363,231	8,264,985

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,087	65,986
未払金	188,197	172,761
未払法人税等	220,893	221,190
未払消費税等	30,267	20,941
その他	47,642	26,692
流動負債合計	560,088	507,573
固定負債		
リース債務	2,058	1,733
固定負債合計	2,058	1,733
負債合計	562,146	509,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,231,322	3,231,322
利益剰余金	2,518,463	2,560,781
自己株式	△178,447	△178,447
株主資本合計	7,686,959	7,729,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,390	15,406
為替換算調整勘定	1,900	9,032
その他の包括利益累計額合計	13,290	24,439
少数株主持分	100,834	1,962
純資産合計	7,801,085	7,755,678
負債純資産合計	8,363,231	8,264,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,101,373	1,902,958
売上原価	543,588	958,162
売上総利益	557,785	944,795
販売費及び一般管理費	※1 245,793	※1 446,723
営業利益	311,991	498,072
営業外収益		
受取利息	46,766	42,593
受取配当金	10	—
その他	1,586	2,604
営業外収益合計	48,363	45,197
営業外費用		
支払利息	—	53
為替差損	50	609
株式交付費	305	305
自己株式取得費用	313	—
その他	577	209
営業外費用合計	1,246	1,177
経常利益	359,108	542,092
税金等調整前四半期純利益	359,108	542,092
法人税、住民税及び事業税	134,788	220,991
法人税等調整額	1,057	579
法人税等合計	135,845	221,570
少数株主損益調整前四半期純利益	223,263	320,521
少数株主利益	—	2,653
四半期純利益	223,263	317,867

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	223,263	320,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	4,016
為替換算調整勘定	—	7,131
その他の包括利益合計	81	11,148
四半期包括利益	223,345	331,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,345	329,219
少数株主に係る四半期包括利益	—	2,449

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	359,108	542,092
減価償却費	51,206	45,437
長期前払費用償却額	3,190	3,898
のれん償却額	3,685	25,820
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,285	△85
受取利息及び受取配当金	△46,777	△42,593
支払利息	—	53
株式交付費	305	305
為替差損益 (△は益)	△42	△72
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,391	△72,002
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△156	△7,165
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,605	△7,100
未払金の増減額 (△は減少)	△18,400	△19,241
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,760	△26,966
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,158	△14,261
小計	317,439	428,118
利息及び配当金の受取額	45,535	42,618
利息の支払額	—	△53
法人税等の支払額	△169,448	△220,620
法人税等の還付額	—	12,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	193,525	262,191
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	350,000	—
有価証券の売却による収入	741	—
有形固定資産の取得による支出	—	△2,260
無形固定資産の取得による支出	△35,806	△58,728
投資有価証券の売却による収入	—	10,717
子会社株式の取得による支出	—	△231,000
敷金及び保証金の回収による収入	—	2,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	314,935	△278,912
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△34,338	—
配当金の支払額	△245,924	△275,021
リース債務の返済による支出	—	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△280,263	△275,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	8,438
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	228,240	△283,616
現金及び現金同等物の期首残高	852,155	1,979,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,080,396	※1 1,695,740

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社グループは、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、定率法（ただし、一部の海外連結子会社は定額法）を採用していましたが、親会社の連結決算上の会計処理と統一するため、第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。

これらの変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
仕掛品	159千円	7,594千円
貯蔵品	5,119	4,850

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
	217,788千円	220,930千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給与	66,093千円	149,775千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,911,120千円	1,816,727千円
有価証券	4,569,275	4,279,337
証券口座預け金（その他流動資産）	—	91
3ヶ月超の定期預金	△900,000	△200,415
現金同等物以外の有価証券	△4,500,000	△4,200,000
現金及び現金同等物の四半期連結会計 期間末残高	1,080,396	1,695,740

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	246,887	900	平成24年3月31日	平成24年6月1日

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年5月23日 取締役会	普通株式	利益剰余金	274,128	1,000	平成25年3月31日	平成25年6月3日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(報告セグメントの区分方法の変更)

当社は、平成24年10月12日に、SBIサーチナ株式会社SBIアセットマネジメント株式会社の株式を取得し、子会社といたしました。

当社グループは、従来、情報を収集し、蓄積した情報を比較・分析・評価、加工して顧客に提供、コンサルティングなどを行っており、従来、報告セグメントは、その対象分野を金融情報とウェブサイトに分け、この区分により、「金融情報評価・情報提供・コンサルティング」と「ウェブ・コンサルティング」の2つに分けておりました。

SBIアセットマネジメント株式会社を子会社としたことにより、従来と異なる、かつ、新たな事業領域として、金融商品取引法に基づく投資信託の設定、募集、運用などの投資運用業務を行うこととなりました。

そのため、平成25年3月期第3四半期連結会計期間より、従来より行っていた、金融、ウェブサイトなどの情報を収集し、蓄積した情報を比較・分析・評価、加工して顧客に提供、コンサルティングなどを行なう事業を「ファイナンシャル・サービス事業」とし、新たな事業領域である金融商品取引法に基づき投資信託の設定、募集、運用などの投資運用や投資助言などを行う事業を「アセットマネジメント事業」として、報告セグメントを区分することといたしました。

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,051,621	49,751	1,101,373	—	1,101,373
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,000	—	21,000	△21,000	—
計	1,072,621	49,751	1,122,373	△21,000	1,101,373
セグメント利益	292,155	19,907	312,063	△71	311,991

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,405,704	497,253	1,902,958	—	1,902,958
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,832	—	12,832	△12,832	—
計	1,418,536	497,253	1,915,790	△12,832	1,902,958
セグメント利益	423,379	74,763	498,142	△70	498,072

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する項）

(単位：千円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,122,373	1,915,790
セグメント間取引消去	△21,000	△12,832
四半期連結損益計算書の売上高	1,101,373	1,902,958

(単位：千円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	312,063	498,142
セグメント間取引消去	△71	△70
四半期連結損益計算書の営業利益	311,991	498,072

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

平成25年5月24日に、子会社SBIサーチナ株式会社の株式を追加取得し、完全子会社といたしました。それに伴い、のれんを128,239千円計上いたしました。当該のれんの報告セグメントは、ファイナンシヤル・サービス事業であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	2円72銭	3円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	223,263	317,867
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	223,263	317,867
普通株式の期中平均株式数(株)	82,106,023	82,238,400
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。		

(注) 当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。